


津山市小田中浄水場更新事業に係る
事業者選定審査委員会

事業者選定結果報告書

平成24年11月15日

津山市水道事業管理者
豊岡俊介様

津山市小田中浄水場更新事業に係る事業者選定審査委員会
委員長 岡田光正 

津山市小田中浄水場更新事業に係る事業者選定結果について

津山市小田中浄水場更新事業に係る事業者選定について、本委員会において審査した結果、次のとおり、最優秀提案者を選定しましたので報告します。

1. 事業名

津山市小田中浄水場更新事業

2. 最優秀提案者

三井住友建設(株)・前澤工業(株)特定建設工事共同企業体

3. 審査委員

	氏名	所属・役職	備考
委員長	岡田 光正	放送大学教授・広島大学名誉教授・工学博士	江原直樹委員は、平成24年4月1日付岡山県の人事異動により、稲山正人委員と交代。
副委員長	河原 長美	岡山大学大学院教授・工学博士	
委員	藤田 一郎	神戸大学大学院教授・学術博士	
	長谷川勝一	美作大学教授	
	(江原 直樹)	(岡山県保健福祉部生活衛生課総括副参事)	
	稲山 正人	岡山県保健福祉部生活衛生課総括副参事	
	豊福 真	岡山県広域水道企業団計画課長	
	長森 健樹	津山市水道局参与	

4. 審査経緯

(1) 委員会開催状況

	開催年月日	審議内容
第1回	平成24年2月28日(火)	① 委員の委嘱 ② 委員長、副委員長の指名 ③ 実施方針(案)の説明 ④ 実施方針の決定
第2回	平成24年4月17日(火)	① 募集要項(案)等の説明 ② 募集要項等の決定
第3回	平成24年10月15日(月)	① プレゼンテーション・ヒヤリングの実施 ② 最優秀提案者の選定

(2) 審査方法

本事業の事業者の選定は、提案価格並びに技術提案を含めた総合的な評価による、公募型プロポーザル方式を採用した。

審査は、「応募資格審査」と「提案書類審査」の2段階に分けて実施し、「応募資格審査」については、本委員会事務局(津山市水道局)にて行い、「提案書類審査」については、本委員会にて行った。

「提案書類審査」は、要求水準達成及び提案価格算出根拠の確認のための基礎審査及び提案価格書に記載された提案価格及び提案書に記載された提案内容審査を行った。

具体的な最優秀提案者の選定については、提案内容を得点化したものと、提案価格を得点化したものを合計した総合評価点を算定し、総合評価点が最も高い提案を行った者を最優秀提案者として選定した。

(3) 総合評価点の算出方法

① 配点方針

提案評価点と価格評価点の配点は、7:3とした。

提案評価点 = 350点 価格評価点 = 150点

② 提案内容の審査

提案評価点の算出についての提案内容の審査項目及び配点は次のとおりとした。

表 提案内容の審査項目と配点

大項目	中項目	小項目	配点	
事業計画 (45点満点)	基本方針	設計、建設のコンセプトについて評価する。	20	45
	業務実施体制	構成員の役割分担、津山市水道局、岡山県広域水道企業団及び運転管理業務委託者との連絡体制、配置人員を評価する。	15	
	事業スケジュール	工程計画の工夫を評価する。	5	
	同類事業の実績	浄水場（凝集沈澱池、急速ろ過池）の新設または全面更新施工実績を評価する。	5	
設計に関する事項 (160点満点)	浄水処理計画	原水水質の特徴や水質や水量変動に対して、計画浄水水質が要求処理水質を満足するための設計根拠を評価する。	20	35
		粉末活性炭処理施設の仕様（接触方式等）、処理性能（注入率、接触時間等）、緊急時対応について評価する。	15	
	配置計画	施設全体の平面配置計画の合理性、動線計画及び将来の施設更新等の容易性について評価する。	30	45
		着水井から送水ポンプ井までの水位高低差を有効に活用しているかを評価する。	15	
	施設計画	土木施設について、施設概要、配管計画、場内整備計画、非常時応急給水拠点計画、管理動線計画、耐震性、耐久性、安全性、環境への配慮、維持管理への配慮、見学者対応方法等について評価する。	15	50
		建築施設について、施設概要、外観計画、維持管理計画（機器の搬出入、管理動線計画）、耐震性、耐久性、安全性、旧自家発棟の記録保存、環境への配慮等について評価する。	10	
		機械設備について、設備概要、耐震性・耐久性・安全性、環境への配慮、維持管理への配慮等について評価する。	15	
	電気計装設備について、電気計装設備概要、計装設備概要と配慮した事項、運転操作設備概要と配慮した事項、環境への配慮、維持管理への配慮等について評価する。	10		
維持管理計画	ランニングコスト、運転管理の容易性、故障時、事故及び災害等の緊急時対応、サポート体制、環境への配慮等について評価する。	30		
建設に関する事項 (130点満点)	施工計画	施工体制、安全管理、工程管理、品質管理、緊急時の対応、建設廃棄物のリサイクル等の計画の妥当性かつ具体性について評価する。	20	75
		更新工事の基本方針とそれに基づく建設計画（施工ステップ）及びその各段階における要求される浄水能力の確保策、既存施設運転への影響抑制策、緊急時の対応の妥当性について評価する。	30	
		既存の浄水処理に影響を与えないように、配管切替え時の断水、排水等の対策、電気計装設備切替え時の対策等について評価する。	25	

	試運転及び引渡し	試運転（単体試験、総合試運転）、運転操作研修の対応の具体策等及び施設の引渡し方法について評価する。	25
	環境への配慮	工事期間中における騒音、振動、悪臭、粉塵及び排出ガス対策、アスベスト処理対策、交通安全対策、及び周辺住民対応等について評価する。	30
	プレゼンテーション (15点満点)	提案内容の分かりやすさ、本業務に取り組む姿勢等について評価する。	15
	計		350

③ 提案内容の審査項目の得点化方法と提案評価点

提案内容の審査においては、上記の「提案内容の審査項目と配点」に示す審査項目ごとに評価を行い、次の4段階評価による得点化方法により、得点を付与した。

提案評価点は、審査項目ごとに、この得点化方式により得点化された点数を合計した。（小数点以下第3位を四捨五入し第2位まで求めた。）

表 提案内容の審査項目の得点化方法

評価	判断基準	得点化方法
A	当該審査項目について要求水準を満たしているほか、特に秀でて優れていると認められる。	配点×1.00
B	当該審査項目について要求水準を満たしているほか、秀でて優れていると認められる。	配点×0.75
C	当該審査項目について要求水準を満たしているほか、優れていると認められる。	配点×0.50
D	当該審査項目について要求水準を満たしているが、優れていると認められない。	配点×0.25

④ 提案価格の得点化方法

提案価格については、以下の方法で得点を算定した。

提案価格評価点＝配点（150点）×（最低提案価格／当該提案価格）

注1. 提案価格点は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで求める。

5. 審査結果

審査結果は、次のとおりとなった。

表 審査結果表

項 目	Aグループ	Bグループ
総合評価点	461.01 点	436.98 点
選 定 結 果	最優秀提案者	

6. 審査講評

本事業の特徴は、現行敷地内で施工され、かつ、浄水場を運転しながらの更新工事を伴う点にある。

この点を考慮したうえで、慎重な審査を行った。項目ごとの審査講評は、以下のとおりである。

(1) 事業計画について

両グループともに、事業目的を十分に理解した基本方針が掲げられており、的確な設計・建設のコンセプト、建設中及び将来の更新も見据えた施設配置の考え方等を含む優れた提案内容であった。

Aグループは、安全性についての細かな配慮や、津山市水道局・運転委託管理者、岡山県広域水道企業団及び事業者との明確な連絡体制が高く評価された。

Bグループは、切替え回数の最小化などの事業スケジュールにおける創意工夫が高く評価された。

(2) 設計に関する事項について

両グループともに、浄水処理計画、配置計画及び施設計画について、十分な検討のもとに計画を立案している点が評価され、優れた提案内容であった。

浄水処理計画においては、原水水質の特徴、水量や水質変動を踏まえ、要求処理水質を満足するための適切な浄水処理フローが計画されていた。また、粉末活性炭処理の注入率、接触時間については、要求水準を満足する内容であった。

配置計画においては、両グループともに自然流下を基本とし、維持管理性や将来の更新スペースを十分考慮して計画されていたが、Aグループが平面配置計画について評価を得た。

施設計画においては、土木施設計画や建築施設計画、機械設備計画は両グループともほとんど差のない評価であった。電気計装設備計画は、細部まで検討がなされていたAグループが評価を得た。

維持管理計画においては、両グループともに、ランニングコスト、運転管理の容易性、故障時・事故時及び災害時等の緊急時対応、サポート体制、環境への配慮などよく検討され、要求水準を満足する内容であった。

(3) 建設に関する事項について

現行敷地内で施工され、かつ、浄水場を運転しながらの施工に対して、両グループともに持てるノウハウや創意工夫を凝らし、特徴のある計画が立案されていた。

施工計画においては、両グループの建設計画に大きな特徴があり、A グループは工事、工程を詳細に検討し、中間3回の切替えを伴う施工を行い、1段階毎に着実に建設する提案、B グループは、施工機械等を工夫することにより中間の切替えを1回とし、リスクを最小化する提案であった。その中で、安全管理や工程管理、品質管理、建設計画、緊急時の対応、切替えが詳細に検討され実現性が高いものと判断されたAグループがより評価を得た。

試運転及び引渡しにおいては、A グループは主要な項目出しを行い明瞭な試運転計画が提案され、B グループはステップごとに手順を明示し理解しやすい試運転計画が提案されていた。

環境への配慮においては、要求水準を満足し、それぞれ特徴のある提案がなされていた。

(4) プレゼンテーションについて

両グループともに、提案項目ごとに、それぞれの提案内容や特徴をプレゼンテーションされ、また質疑についても丁寧に回答されていた。提案内容の疑問点を解消するとともに、その理解をさらに深めるものであり、提案書を真摯に作成いただいたことや本業務に積極的に取り組む姿勢が見て取れる内容であった。

7. 総評

本事業は、現行敷地内で施工され、かつ、浄水場を運転しながらの更新工事を伴うという技術的な課題が多い中で、いずれの提案も要求水準を充足しながら、民間事業者の技術力を駆使し、ノウハウや創意工夫を盛り込んだ優れた内容であった。甲乙つけがたい両提案について、本委員会において、提案内容を審査項目別に審議し技術的評価を行った結果、より具体的な提案が示されたAグループが高い評価を得ることとなった。提案価格についてはBグループが優れていたがほぼ同額であり、総合評価によりAグループが最優秀提案者となった。

最後に、今回の提案にあたって、両グループともに短期間であるにも関わらず多大な尽力をいただいたこと、またそれぞれに創意工夫を凝らしたすばらしい提案をいただいたことに、委員会として深く感謝申し上げます。

8. その他

水道事業管理者におかれては、「安全・安心な水道水の安定供給」のため、速やかに事業者の特定をされ、十分な協議のもとに、本事業の円滑な実施に尽力されたい。